

NPO・ボランティア部門

受賞者： ^{まつむら}松村 ^{まみこ}満美子 (76歳)

NPO 法人腎臓サポート協会 理事長



松村満美子氏は元NHKアナウンサーからフリーのジャーナリストとして活躍した経歴を持ち、腎臓病患者へのインタビューをきっかけに腎臓病と関わり始めた。子供達の腎移植を願いテレビ番組を制作したり、講演でも訴え続けた。以来40年以上、ボランティアで腎不全患者と医師とをつなげる役割を果たしてきた。

1997年には日本における臓器移植法設立にも貢献し、当時小児の心臓移植や肝移植が海外でしか受けられない不条理を訴え続けた。

また、自身が理事長を務めるNPO法人腎臓サポート協会では、腎臓病患者に寄り添う啓発活動の一環として機関誌「そらまめ通信」を年6回発行、2016年4月現在まで計86号、約12,000人に無料で配布している。機関誌の企画から発刊まで、ほとんど松村氏がボランティアで手掛けている。患者へのインタビュー記事をはじめ、食事療法の助けとなるレシピ、腎不全に関する最新の情報など、12頁に渡る内容豊富な冊子は、病気で悩む患者やその家族の精神的支えとなっている。

また、元アナウンサーというキャリアを活かし、自らが広告塔となって活動を広げており、腎臓移植推進国民大会（現、臓器移植推進国民大会）では長年にわたり企画・司会を務めた。

高齢化に伴い腎臓病による透析予備軍は10人に1人といわれる現在、松村氏がボランティアで長年にわたり続けている「腎臓病患者に寄り添い、患者と医師とをつなげる活動」は貴重であり、その貢献は多大である。

推薦者： 原 茂子 原プレスセンタークリニック院長
虎の門病院 腎センター内科元部長
大平 整爾 医療法人社団東桑会 札幌北クリニック顧問
飯野 靖彦 日本医科大学名誉教授、医療法人やよい会会長
篠田 俊雄 公益社団法人日本透析医会専務理事
古園 勉 近畿大学生物理工学部医用工学科教授